学校番号	412

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（文系・理数専門）地理Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校新地理Ａ（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「どこに何が」を問う科目である地理では、地名は地図をみて地図の中で押さえることが大事となる。単に語句で覚えるだけでは能率が上がらない。地名を聞けば、脳内地図で「このあたりだな」とわかるようになるといい。学習内容は略図に描いたり、白地図に仕上げたりすることで理解が進む。地図帳に親しむこと。
・地理では「なぜなのか」を考えながら学習する。一つの物事が原因となって別の物事を成立させ、また、それが他の物事の成立に影響を及ぼしたりしている。物事はばらばらに存在しているのではなく、お互いに結びついている。「なぜ」は物事の「繋がり」を見つけることで明らかになってくる。「なぜ」を考えながら学習することで深く理解でき、「繋がり」の網目も細かくなる。やみくもに暗記するのは上策ではない。
・授業はまずしっかり聞くことです。そして、板書されていなくても「大事だな」と引っかかるところは書き写す、マーカーで強調するなど、授業を受けたときの痕跡を残しておくと、後で勉強するときに役立ちます。

２　学習の到達目標

・現代社会の地理的諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察させる。
・現代社会の地理的認識を養うとともに、地理的な見方、考え方を培う。
・国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚・資質を養う。

３　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	ａ：関心・意欲・態度	ｂ：思考・判断・表現	ｃ：資料活用の技能	ｄ：知識・理解
観点の趣旨	現代社会の地理的な諸事象・諸課題に対する興味・関心を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。授業や作業学習・調べ学習に意欲的に取り組み、理解しようとしている。	現代社会の地理的諸事象・諸問題に対して、地域性や歴史的背景を踏まえ地理的観点から考察している。日本との比較・関連を踏まえ、公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	現代社会の地理的諸事象や諸問題に関する地図や統計、画像などを収集して有用な情報を選択し、読図・作図、資料の読み取り・図表作成など適切に行っている。	現代社会の地理的諸事象についての基本的な事柄を、地域性や歴史的背景、日本との比較・関連を踏まえながら理解し、その知識を身につけている。

評価方法	授業観察 提出物	定期考査 （記述・論述問題） 授業観察 提出物	定期考査（図表・資料の読み取り） 授業観察 提出物	定期考査 授業観察 提出物
	〔主題学習〕 授業観察 提出物	〔主題学習〕 提出物 発表	〔主題学習〕 定期考査 授業観察 提出物	〔主題学習〕 定期考査 授業観察 提出物
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地球儀や地図からとらえる現代社会	・地球上の位置と国家 ・グローバル化が進む世界	 ○	○ ○	○	○	a:地球上の位置と国家やグローバル化が進む世界について関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b: 地球上の位置と国家やグローバル化が進む世界について地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 地球上の位置と国家やグローバル化が進む世界に関する地図や諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 地球上の位置と国家やグローバル化が進む世界についての基本的な事柄を理解し、それらの知識を身につけている。	定期考査 授業観察 （授業中の質問に対する応答、机間巡視等による） 提出物 （レポート、ワークシート等）
	人間生活をとりまく環境	・生活に影響を与える環境条件とは ・人々の生活と地形 ・人々の生活と気候 ・人々の生活と産業 ・人々の生活と文化	○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	a:地形や気候、産業、文化について関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b:地形や気候、産業、文化について地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 地形や気候、産業、文化に関する地図や諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 地形や気候、産業、文化につ	定期考査 授業観察 （授業中の質問に対する応答、机間巡視等による） 提出物 （レポート、ワークシート等）

							いての基本的な事柄を理解し、それらの知識を身につけている。	
2学期	世界の諸地域の生活・文化	・中国の生活・文化 ・韓国の生活・文化 ・東南アジアの生活・文化 ・インドの生活・文化 ・中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化 ・ヨーロッパの生活・文化 ・ロシアの生活・文化 ・アメリカ合衆国の生活・文化 ・ラテンアメリカの生活・文化 ・オーストラリアの生活・文化	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:設定された地域の生活・文化について関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b: 設定された地域の生活・文化について地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 設定された地域の生活・文化に関する地図や諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 設定された地域の生活・文化についての基本的な事柄を理解し、それらの知識を身につけている。	定期考査 授業観察 （授業中の質問に対する応答、机間巡視等による） 提出物 （レポート、ワークシート等）
3学期	地球的課題と私たち	・複雑にからみ合う地球的課題 ・世界の環境問題 ・世界の資源・エネルギー問題 ・世界の人口問題 ・世界の食料問題 ・世界の都市・居住問題	○	○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:複雑にからみ合う地球的課題や諸問題について関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b: 複雑にからみ合う地球的課題や諸問題について地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 複雑にからみ合う地球的課題や諸問題に関する地図や諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 複雑にからみ合う地球的課題や諸問題についての基本的な事柄を理解し、それらの知識を身につけている。	定期考査 授業観察 （授業中の質問に対する応答、机間巡視等による） 提出物 （レポート、ワークシート等）
	身近な地域の課題	・身近にあるさまざまな地図 ・日本の自然環境と防災	○ ○	 ○	○	○ ○	a:身のまわりにあるさまざまな地図や日本の自然環境と防災について関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b: 身のまわりにあるさまざまな地図や日本の自然環境と防災の課題を見いだし地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 身のまわりにあるさまざまな地図や日本の自然環境と防災に関する地図や諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	定期考査 授業観察 （授業中の質問に対する応答、机間巡視等による） 提出物 （レポート、ワークシート等）

							d: 身のまわりにあるさまざまな地図や日本の自然環境と防災についての基本的な事柄を理解し、それらの知識を身につけている。	
	身近な地域の課題と地域調査	［主題学習］ ・地域を調べる課題の設定 ・課題の調査 ・調査内容の発表	○	○	○ ○	○	a:身近な地域の課題と地域調査について関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b:身近な地域の課題と地域調査の課題を見いだし地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:身近な地域の課題と地域調査の課題に関する地図や諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:身近な地域の課題と地域調査の課題についての基本的な事柄を理解し、それらの知識を身につけている。	定期考査 授業観察 （授業中の質問に対する応答、机間巡視等による） 発表 提出物 （レポート、ワークシート等）

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。